

2013.1 月山行ー仏果山・経ガ岳山行記ー

小田急線本厚木駅に集合し、タクシー4台に分乗し東丹沢・宮ヶ瀬湖わきの仏果山登山口で下車(9:00)する。それぞれ準備を終え総勢16名のパーティで出発した。

いつもツアーの大団体のパーティに会うと冷やかな目で見えていたが、きょうは我々も少数パーティから同じように見られるのか？

緩やかなジグザグの登りの後、宮ヶ瀬越(10:29)を経て仏果山へ。

山頂(11:00)には自然の風景にはマッチしない高い鉄製の展望台のおかげで、宮ヶ瀬湖と丹沢の山々が、見事に見渡せます。富士山が見えなかったのが唯一残念だった。ここでいつものようにいくつかのグループに分かれて、いつもより時間をとって昼食。これより半原越を目指します。出発前に恒例の全員で記念写真を撮る(11:44)。

ここから経ヶ岳へのルートは本日のハイライト部分で、急な下り、痩せ尾根の連続と、意外に険しい所もあり、思わず腰も引け、あまり気が抜けません。その後の雑木林の山道は気分良く歩ける場所です。

やがて半原越へ。ここより経ガ岳をめざします。直登の尾根に経石(弘法大師がこの岩の南側の穴に経文を納めた)という巨岩がありやがて経ガ岳山頂(14:16)へ。

ここからも大山と丹沢の主脈が白い雲の模様の中に鮮やかに見渡せます。ここでしばしの休憩ですが、当会は女性が多いからでしょうか何故か懇談の場と化します。そのまま一気に田代を目指して下り、半僧坊前よりバスで本厚木駅へ。タイミングよくそんなに待たされずにバスがきた。

きょうの山行は、天気にも恵まれての、冬の日溜りハイクでした。

ちなみに翌日の成人の日は、な、なんと東京は大雪でした。今回は東丹沢のはずれ、ちいぼけな、二つの山を登った地味な山行でしたが、意外や意外、なかなか歩きがいがあり、満足のいくものだった、というのが偽らざる感想です。

本厚木駅で直帰組と温泉組に分かれて解散、温泉組は4駅ほど小田原方面に戻り新しくできた「さざんかの宿」ではなく「さざんかの湯」で汗を流し、疲れを癒し軽く反省会のあと帰途についた。

行程の写真等は、HP(<http://kazenokai-hikingclub.jimdo.com>)で閲覧ください。

2013.1.16 伊藤